



## 令和5年9月 亀山市議会 一般質問

### 防犯灯のLEDについて

**高島** 防犯灯のLEDについて3月議会でお聞きしましたが、その後どうなりましたか。

**答弁** LED防犯灯の修繕も補助対象とし、改修費用の2分の1で上限1万円と7月に各自治会に案内しました。当面は従来の防犯等施設設置補助金の範囲内で運用します。

**高島** LEDの交換補助金が出ることで一步進んだと考えております。まだ蛍光灯が残っていますが、どのように推測していますか。また、LEDの防犯灯に年間市がどのくらい補助をしていますか。

**答弁** 防犯灯のLED化の推移は、約5%で増加して推移しています。

**高島** 約232基を新設すると、年間の差額は758万円になります。電気代が高騰して差額が開いていると思います。予算が浮いた分をLEDに変えて電気代を節約してはどうでしょうか。

**答弁** 予算については毎年度5%増加しますので、見合った予算の中で進めていきます。

**高島** 大幅に変えていかないと。一気にLEDに変えていく意向はあるか教えてください。

**答弁** 4年度末のLED化が49.1%ということは、残りを毎年5%ずつ対応して10年かかる。様々な取組の中で判断も必要かと思いますが、電気代のコストを下げることをしっかり見極める必要があります。

**高島** 自治会によっては補助金を使わず、予算内で設置しているところに関しても考慮してください。電気代、器具の補助はとても良い施策だと思います。

**答弁** 地域ごとの新設には5個という制約、制限があるので、地域自ら設置していると聞いております。

現行制度を維持しながら80%の目標を、自治会設置のLEDも含めると、6年後にはおおむね達成されと考えております。

**高島** 新設に制約があっても、蛍光灯からLEDに変えるようアドバイスしていいと思います。



### 防犯カメラについて

**高島** まちの防犯カメラにより検挙率が上がっていると感じています。

通学路の見守り隊がいるのは朝と夕、帰りの指定場所のみなので、通学路への設置を要望します。

**答弁** 通学路の交通安全対策は、地域の見守り活動と併せて実施しています。PTAなどから危険箇所の対策

要望をいただき、実施体制を整えています。防犯カメラの設置要望はありません。

一方で、市民の安心・安全のために市内の設置は考えています。

**高島** 要望したが断られたと聞き及んでおります。通学路の草刈りも施行はならず、地域の方が刈ってくださった。

通学路は前方から自転車が来たりして子供が1人では歩けない状態です。

聞いたからではなく、危険なところは取り付けていくようお願いします。

給食にしても、教育長は決めたなら教育庁の船長として説明義務が生じると思います。

部長は航海士。ヘディングの角度を変えるには船長が総員に伝えなければならぬ。教育長が話をすべきだと思います。



### 市の外郭団体への支援について

**高島** 亀山市の外郭団体、亀山市地域振興会と亀山市シルバー人材、それらはいつできたのか、設立経緯をお聞きいたします。

**答弁** 亀山市地域社会振興会は、社会教育施設等の設置及び管理運営の事業、地域社会振興の事業などを実施し、市民へのサービス向上、福祉の増進を目的とし、昭和51年9月に財団法人亀山市社会教育振興会として設立されました。平成元年に名称を亀山市地域社会振興会へ変更し、平成25年に財団法人から公益財団法人に移行しました。

亀山市シルバー人材センターは、高齢者の再就職の促進、就業機会を確保し、その能力の積極的な活用を図れるよう発足されました。平成8年に社団法人となり、平成24年に公益社団法人に移行しました。

**高島** シルバー人材センターは調べれば出てきましたが、地域社会振興会は市とその振興会が共同でつくったのか、資本金を出し合っただけのものなのか教えてください。

**答弁** 市からの支援は設立時と平成2年に出捐金を出資しています。また青少年研修センターとスポーツ研修センターの建設に補助金を支出しています。さらに指定管理者制度を導入するまでの間、公共施設の管理運営を委託しています。

亀山市議会の  
情報はこちら



亀山市議会



亀山市議会  
議会映像配信



一方で、同振興会は、スポーツ研修センター及び青少年研修センターの使用料等収入を得ておりますが、運営費に対して毎年補助金を支援しており、今後も継続して支援を行います。

**高島** 亀山市が半分オーナーですね。

それでは、シルバー人材センターには、どういう支援を行ってきたかお聞かせください。

**答弁** 同センターは会費収入、事業収益等を自主財源として運営をしており、これらに国の高年齢者就業機会確保事業及び雇用開発支援事業費等補助金と市の補助金を加え、健全で安定した運営に努めています。

さらに、毎年公共発注として、草刈り、剪定、施設管理、清掃などの業務が委託されており、今後も継続して支援を行います。

**高島** シルバーについては法律があるので抜粋します。就業機会の確保ほか必要措置に努めることが国及び自治体の責務と書いてあります。

今後はどのような支援や改善を行っていくのかお聞きいたします。

**答弁** 団体の設立目的や経緯を含め、本市の公益的な事業を継続できるよう、支援を行っています。

今後も市の補助に依存せず自立した経営を促し、公益的な事業が展開できるように必要な支援をします。

地域社会振興会の意義は大きいですし、シルバー人材センターについては、高齢者雇用の重要政策と考えています。



## フラワー道路について

**高島** フラワー道路は舗装をして走りやすくなりました。

辺法寺からフラワー道路に出るとき、下り車線は車のスピードが出ます。彌牟居神社から上がってくる時はカーブになっていて、出るタイミングを図りながら進む。

T字路ありの看板がありますが、交差点に防犯灯をつけてもらいたい。危ないので道路を明るくしてほしい。

また、鹿やイノシシとの接触事故があります。鹿は道にじっと立っているの、はねてしまわないためにも、道路の明かりで鹿が見えれば。上へ行けば街路灯があるが、下がるほど暗い……。小さい側道までとは言わないです。まちに入る道や、彌牟居神社に上がる道を明るくするという整備についてお聞きします。

**答弁** 市道川崎白木線(フラワー道路)は、平成19年から市道認定し、管理をしています。

大型車両の通行が増加したため、道路舗装の損傷が激しく、舗装整備をしておりましたが、昨年全区間の整備が完了しました。

夜間の安全対策について、要望がなかったので実施していません。道路照明灯は検討しており、要望があれば夜間通行上特に危険な場所を検証し、設置と対策を検討します。

**高島** 危険なところに立ったら分かりますが、夜間は辺法

寺に入る際、通り過ぎます。

要望と言わず、早くつけてもらえればと思います。



## 安全運転サポート車普及促進事業費(サポカー補助金)補助金について

**高島** 飛び出し防止、車の踏み違えがありますが、その補助金が3年ぐらい前に実施されました。私の意見としては、車の免許証は返すなと言う。人から相談されても絶対返したらだめだと。

昨今の車は大変便利になっています。進路変更をするとき、押しでもハンドルを戻してきます。そういう便利な装置がついているんですが、結局75歳以上になって新車をまず買いません。そこへ国の補助金制度があり、3年ぐらい前にある議員もそれについて聞いていました。国の施策としてあったとしても、3年経てば3年歳を取っているんですよ。15年も経てば、車に乗っているのかさえ分からないぐらいの時間ですので、利用しないというのは分かって聞いています。利用する、しないというより少し考える余地はないのでしょうか。

**答弁** サポカー補助金については、補助金を新たに創設する予定はありません。ただ、今後も自動車技術や高齢者の方への安全対策のために国が対応を取っていく場合は、周辺市町村も含め新たな補助制度を検討する余地はあるかと思われれます。

**高島** 車を降りて、家族に免許証を返せと言われますが、車を降りるとぼけるんですよ。手先を動かして、アクセルをどれだけ上げているかなど、車に乗るとすぐ頭を使います。

みなさんが心配しているのはオートマチック車(AT車)のことでしょう。以前はノークラとよんでいましたが、ミッション(MT(マニュアル))車に乗れば事故などないんです。飛び出すことはないと思いますので、私は今もミッション車に乗っています。

現在はオートマチック車が主流だから間違いを起こすのであって、今新車を買えば踏み間違いはないとは思いますが。自動で止まると思うんです。

家族の言うことを聞いて免許証を返すでしょう。そうすると買い物に行くときに誰かに頼まなくてはならない。

孫に頼めば高くつく....ガソリンを入れてやったり....何やかんやと。

みなさんには免許証を返したらだめと言うんです。

警察は返せと言うけれど、私は乗れる範囲であれば乗って、買い替えるならミッション車にすれば事故は起きないと思います。ミッション車の飛び出しは事故件数がゼロです。人間は焦ったときには両足で踏みますが、クラッチを踏むので絶対事故は起きないということです。



高島まこと  
ウェブサイト

